

例会報告

第2603回例会報告議事録

日時 令和2年1月28日(火曜日)

場所 川村学園女子大学 我孫子キャンパス内 会議室

時間 12:15点鐘

ロータリーソング「てにてつないで」

ゲスト：なし

ビジター：なし

S.A.A.: 柳田会員

会長挨拶

木村会長



先週の例会の後、我孫子青年会議所の2020年の新年例会に参加して参りました。40歳までの若い方が本当に我孫子のことを考えて活動していらっしゃるなと思いました。

2020年度の我孫子青年会議所のスローガンは「守破離」という言葉でした。初めて聞いた言葉だったので調べてみたところ、千利休の教えをまとめた「利休道歌」というものの中にある言葉でした。師匠に言われた事を守る事からスタートして、他流をいろいろ研究して基本の型を破り、自分の新しい型を作るといふことだそうですね。なるほどなと思いました。いい言葉を教えていただきました。

JCさんも会員拡大、町づくり、会員の資質向上を柱としており、ロータリーと同じと感じました。

先週の土曜日に高校の同窓会があり出席してきました。

佐倉にある千葉の歴史博物館の副館長だった同級生が4月から館長になるとのことでした。恥ずかしながら歴博には一度も行った事がないのですが、国立の博物館で、東大卒の方が設立したそうで、第六代までは東大卒の方が館長をされていたそうです。現館長の七代目の方は京大で、ずっと帝大出身の方が館長でしたが、八代目になる私の同級生は熊本大出身で、帝大の歴史をくずしたんだ、と非常に元気のいい同級生です。来た時には裏側のものも見せるからと言ってくれたので、ロータリーで歴博ツアーをやってみたいなと思いました。

親睦委員会報告

倉持委員長



下半期の親睦事業の日程をお知らせします。

- ・3月27日(金)18~20時に屋形船でお花見
- ・5月22日(金)、23日(土)に西伊豆方面にバス旅行

詳細は改めて事務局よりファックスでご案内させていただきますので、ご登録よろしくお願いたします。

出席委員会報告

寺井会員(代理)

20名(出席免除者含む)出席(全員で32名) 出席率62.5%

欠席者が12名

業務の為: 石原会員、今井会員、小野会員、梶会員、上村英生会員、古谷野会員、佐藤雅教会員、塩毛会員、志賀会員、澁谷会員、関根会員、堤会員、福武会員、前田会員、湯下会員

幹事報告

藤本幹事



- ・来月18日のIMの参加者は16名の予定です。ホストクラブですので、もう少し参加者を募っていきたいと思います。
- ・出席率ですが、昨年からの誕生祝いをされていない方が何名かいらっしゃいますので、皆様、欠席されている方にちょっとお声がけして頂ければと思います。
- ・1月30日(木)は地区委員会に私が出席してきます。
- ・2月1日(土)はRLIに上村ガバナー補佐と村越ガバナー補佐幹事と一緒に勉強しに行ってきます。
- ・昨年の夜間例会の時に小田さんが来ていただきましたが、我孫子駅の発車ベルの記事が読売新聞の東葛版に載っていました。7567人分の署名が集まり我孫子市に提出されたそうです。
- ・オリンピックの影響で花火大会が中止になりました。八坂神社の祭礼も中止になるそうです。非常に残念ですが、カップまつりは8月にやるそうです。



先日、村越会員から卓話をお願いされました。何か若い人たちに伝える事が私の仕事の中心になるのかなと思ひ、何を話そうか今朝からずっと考えていました。

僕は幼児教育に携わってしまひて、3~6歳の幼い子供たちの命を預かり、それぞれの背後にご家庭、生活があり、誰かが今非常に悩んでいるとか、誰かが素晴らしい行いをしたとか、さまざまな情報が飛び交います。僕なりに可能な限り、一人一人の心の中に入って行って、入っていけない部分もあるのですが、何が出来るのかを考えながら歩んで来た人生だったと思ひます。

たいしたことはできないんですけども、一人一人の状況、幸せ、悩みを知ると、人間というのは不思議なもので自分の中にスイッチが入って、できることをしていく、そういう作業を命のある限りしていかないといけないかなと思ひています。

人生は人が人になるための旅なんだろうと僕は思ひます。

良い旅をするにはどうすればいいのか。良い旅って何なんだろう。

ある人にとっては、地位や名誉を得ることかもしれない、別の人にとっては財産を蓄える事、またある人にとっては自分がいただいた賜物を生かして人の為に生きていくこと、さまざまな価値観の中で人間は旅をしています。

その中でロータリークラブは独特な光を輝かせていると思ひます。

ロータリークラブはやはり人の為になるクラブを目指さないといけないし、それは115年前にロータリークラブが出来た時から使命としていると思ひます。

私が大好きなポストガバナーがいらして、その方が書かれている文章をよく読みます。ロータリアンとしての矜持を持つ、ということをおっしゃっています。矜持というのは、本当の意味の自信や誇り、という意味です。

手抜きや省略をしない例会等を行えば自ずとロータリアンとしての自信や誇りが生まれる、と書かれています。

ロータリーの先人たちが築いた形を美しいまま引き継ぐことができる。私たちはその形を愚直に引き継がなければならない。人生や思想を語り、仲間内で安息を求め合うのは、横一線の人間関係と相まって活動するならば、砂漠の中のオアシスに匹敵する、そんなことを書かれています。横一線、という所がすごく大事だと思ひます。僕らは、若い人と年寄りというサークルですが、みんな平等な立場、ということですよ。

良い旅の中核をなすのは何なのだろうと思ひます。

今日は時間がたっぷりあるとのことなのでプライベートな話もしますけれども、僕は27歳の時に、外に出られない病気になりました。家内と結婚して間もない頃でした。あるものを目指したのですが、うまく行かず、外に出られない、何とも言えない感覚にさいなまれて、奈落の底に落ちるような、ノイローゼというか自律神経失調症というか、動悸がしたり、外に行ってもふらふらしたりで、しばらく田舎に引越しました。

兄貴が二人歯医者をしていましたので、そこで手伝いをしながら、9年間そこで生活していました。そこで娘と息子が与えられました。

その時に、父は亡くしていましたが、幸いに母がいて、僕の症状とか病気を母なりに把握していて「あなた、お父ちゃんと同じ病気やね」という母の言葉が、「おやじもそうだったんだ」と僕の一筋の光になりました。

どうしようもなく、これからどうなるんだろうと不安で不安でしょうがない中で、兄も全く叱りもせず受け入れてくれて、母と兄の愛情に支えられて田舎でしばらく過ごしていました。

忘れられない思い出があります。

父が歯科医を開業していて、そこに甥っ子である、僕より30くらい上の人が見習いでしばらく来ていました。僕が4、5歳の頃です。その人が日光で開業して、僕がそういう病気になっているということを知りつけて、何十年も会っていないのに「公三くん、東京へ出て来なさい」と声をかけてくれました。その方は成長の家の信者さんでした。

僕は家内と新幹線で東京駅に行きました。東京駅で迎えてくれたのですが、「公三君、悪かったね、知らなくて」と彼の目からは涙が出ていました。小さい頃の自分しか知らないのに、そうやって僕を迎えてくださって僕は本当に感動しました。

武蔵野にある道場に行って一週間くらい合宿をしました。「ありがとうございます」から始まって、まず便所掃除をしました。自分の中にある余計な邪念を吹き払う、ひとつの修行をしました。そのことは未だに忘られない、僕の30歳年上の従兄の愛です。

今、教育の世界にいさせて頂いて、いろんな悩む人がいて、いろんなことでつまづく人がいます。

(次ページへ続く)

僕が今お世話になっているキリスト教は、仏教や神道も一緒だと思うのですが、聖書の中に「悪しきは良きに変えられる」という言葉があります。今日よりは明日、明日よりはあさって、必ず良くなる、悪いものは良いものに変えられる、そういうことを教えてください。

今、悪いという現実があっても必ず良くなる、それを信じて歩いていく。それを支えてくれるのは、心が動くこと、感動すること、もっと簡単にまとめると愛だと思います。それが、この世界を救っていく大事な大事なことだと思っています。

かつて何度かお話ししましたが、ロータリークラブの生活の中でも忘れられない方々や言葉が脳裏をよぎります。

尾上先生という方は、僕が最初の会長に就任した時に「鈴木くん、ロータリーのバッジが重くなるようにしてくれ」と繰り返しおっしゃいました。僕がこんな力がないから、そうおっしゃるんだなと、斜めに受け取っていたのですが、実はそうじゃなかったのかもしれないなと思いました。僕が進めていくうちに、折々に、笑顔で、優しいまなざしで首を縦に振ってくださるようなことがあって、僕なりのやり方でやってきたことを評価してくださったのかなと思いました。

尾上先生のお話でひとつ忘れられないお話があります。先生が東京歯科大に行っていた頃の東京大空襲の時の話です。怪我を負って逃げるすべを失った少女が助けを懇願した時に、先生は自分の身を守ることに専念してしまった、そのことを卓話で話された時に本気で泣かれていました。涙ながらにお話されていました。僕はとても心が動きました。

野田進さんの話は何回もしていますが、ロータリークラブで瀧日先輩、上村文明会員、私が連続で会長をさせていただいた時、野田会員は血液のがんに冒されていました。病院から僕に電話がかかってきて「若い人が会長になるのはちょっとヘビーだから2回目やってくれませんか」とお話ししてくださいました。彼は決して無理強いではなく、我孫子ロータリーを愛した男の愛情を感じた瞬間でした。

井上先生と村越会員のお父さんが、僕の推薦人でした。「公三さん、スリランカに行かない?」と井上先生から声をかけられて、スリランカへ一週間の旅に出かけました。マッチンググラントと言って、同額補助を受けたものは必要があれば現地視察をせよというロータリーのルールがあって、井上先生がサポートされていました。かつて井上先生が教鞭を取った時の生徒であるお坊さんがスリランカのコロナポに学校を作りたいとのことで、井上先生は当時、会う人ごとに「寄付、寄付」となりふりかまわずにお金を集めていらっしゃいました。

昔のIMで井上先生がスピーチをされたことがあり、ロータリーで何を学んだかというテーマで「僕はロータリーでお金の使い方を学んだ」と端的におっしゃいました。ロータリーは人のためにお金を使います。まさしく愛の行為であったと思います。

人生最大の目的は人類のために奉仕することだと信じている人々に出会うこと。人生最大の目的は人類のために奉仕することだと信じている人々とはロータリアンのことです。

毎学期の終わりに、父兄にお手紙を書いています。なるべく僕自身が感動した身近なことを書くようにしています。

今、私の幼稚園はランチルームと厨房を作っているのですが、その大工さん達の様子や、卒業生のクリスマス会の様子、それから、16年前にすみれちゃんというワンコが幼稚園に迷い込んで来て、野良犬で捨てられた子だったのですが、今、その子のがんになり、やっとこさ歩いてオシッコをしているような状態で、そんなことを綴りました。ちょっと読みますので、お耳を貸してください。

2学期の終わりに

理事長 鈴木公三

遅かった今年の紅葉もようやく果実。小ホールの前の榎の葉が黄色に色づきました。季節の移り変わりを伝えると一枚一枚が風に舞い、目を楽しませてくれました。

研修棟前のセンダンの木、今年もたくさん実をつけました。食べ頃の今、どこからやってくるのか多くのムクドリ、ヒヨドリたちがたわわに実った秋の恵みを満喫しています。細く長くちばしを大きく開けてくわえています。でも、なかなか一気に飲み込めません。やっとのことで一粒食べられました。ヒヨドリくん、おいしいですか。これから冬枯れ、食べ物も少なくなります。いっぱい召し上がれ。

先週の土曜日、卒業生のクリスマス会があり、1年生から6年生までの196人の卒業生が集まりました。のりこ先生のお話を聞き、賛美歌を歌い、久しぶりの礼拝です。お帰りなさい。大きくなったね。懐かしい一人一人とのかけがえのない時間です。

最後に歌った素晴らしいホーリーナイト。夜空に輝く天の使い達が羊飼いに知らせた喜び。私たちのためにイエス様をありがとう。皆がしっかりと記憶し、力強い歌声がホールいっぱい響き渡った素晴らしい時間でした。

給食棟の工事が進んでいます。三角のアーチが組まれ、屋根の下地の畳一枚程の重い合板を張る折の話です。3センチ角の角材を足場に下からてっぺんまで重い合板の打ち付け作業です。岩

手出身の棟梁、新治さん60歳。新潟出身の清水さん、茨城出身の針ヶ谷さん、二人は70歳。若手の27歳のかつやくん。遠くから棟梁の大きな声が響きます。「じいさん、危ねえぞ」「ひゃー、おっかねー」西側は45度、東側は60度程の急勾配を肝を冷やしながらの難工事でした。私も彼らのご苦勞を体験しようと登りかけましたが、ただただ感謝。

次は15歳のすみれのお話です。

この3月に右前足の付け根に腫瘍が見つかり、新松戸のがん専門の獣医から、がんであと半年くらいとの診断を受けました。丁寧に診ていただき、抗がん剤が効き、一時小さくなりました。獣医さん共々喜んで過ごす毎日でした。しかしながら、その後、触診でわかる程の転移。一昨日くらいから歩行が困難な状態です。

新園舎のスタートの初日の始業式の日、廃材の積まれた駐車場のすきまで寒さに震えていました。不幸な生い立ちを背負いながら生後3ヶ月程のすみれとの出会いです。職員が帰った後、さくら、ももの姉妹ワンちゃんがかつて夜回りしたように、すみれも15年近くこの場を毎晩ワンワンと守ってくれました。今も足を引きずりながら。

このクリスマスの冬の時、たくさんの「ありがとう」をかみしめる日々です。

そして、白ばら幼稚園に集う皆が神と人ともに愛されるものとなれますようにと祈ります。よいクリスマス、よい年をお迎えください。

2019年 冬

すみません。取り乱しまして。ありがとうございました。

開会の言葉

木村会長

鈴木公三先生、我孫子ロータリーの歴史から幼稚園の様子、愛情を持って子供たちに接せられる様子、愛犬の悲しいお話も頂きました。ありがとうございました。

例会を閉会いたします。点鐘します。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
藤本幹事	鈴木先生ありがとうございました。	1,000円
荒井会員	公三さん 卓話ありがとうございました。	1,000円
上村文明会員	公三さん犬との別れはつらいよね!!卓話有難とう。	1,000円
倉持会員	鈴木会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
小池会員	鈴木会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
鈴木会員	卓話をさせて頂きありがとうございました。	2,000円
瀧日会員	鈴木会員 感動的な卓話ありがとうございました。	1,000円
寺井会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
服部会員	鈴木公三先生 卓話ありがとうございました。	1,000円
日暮会員	卓話ありがとうございました。	1,000円
村越会員	鈴木会員 卓話ありがとうございました。	1,000円
柳田会員	鈴木公三会員 ありがとうございました。	1,000円
米田会員	卓話ありがとうございます。	1,000円
当日計		14,000円
今期累計		302,221円

今週の表紙「大光寺」 千葉県我孫子市緑2丁目3番1号

旧水戸街道が大きくカーブする角にある真言宗豊山派の寺院です。志賀直哉の「和解」にも登場する大光寺の創建は室町時代に遡ります。水戸街道・我孫子宿の中心にあった為、江戸時代には宿場の発展と共に栄えました。嘉永4年(1851年)に高野山から夢告大師像を迎え、厄除け大師としての信仰が盛んになりました。新四国相馬八十八箇所霊場の四十二番札所です。境内にひかり幼稚園があります。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村カコンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。